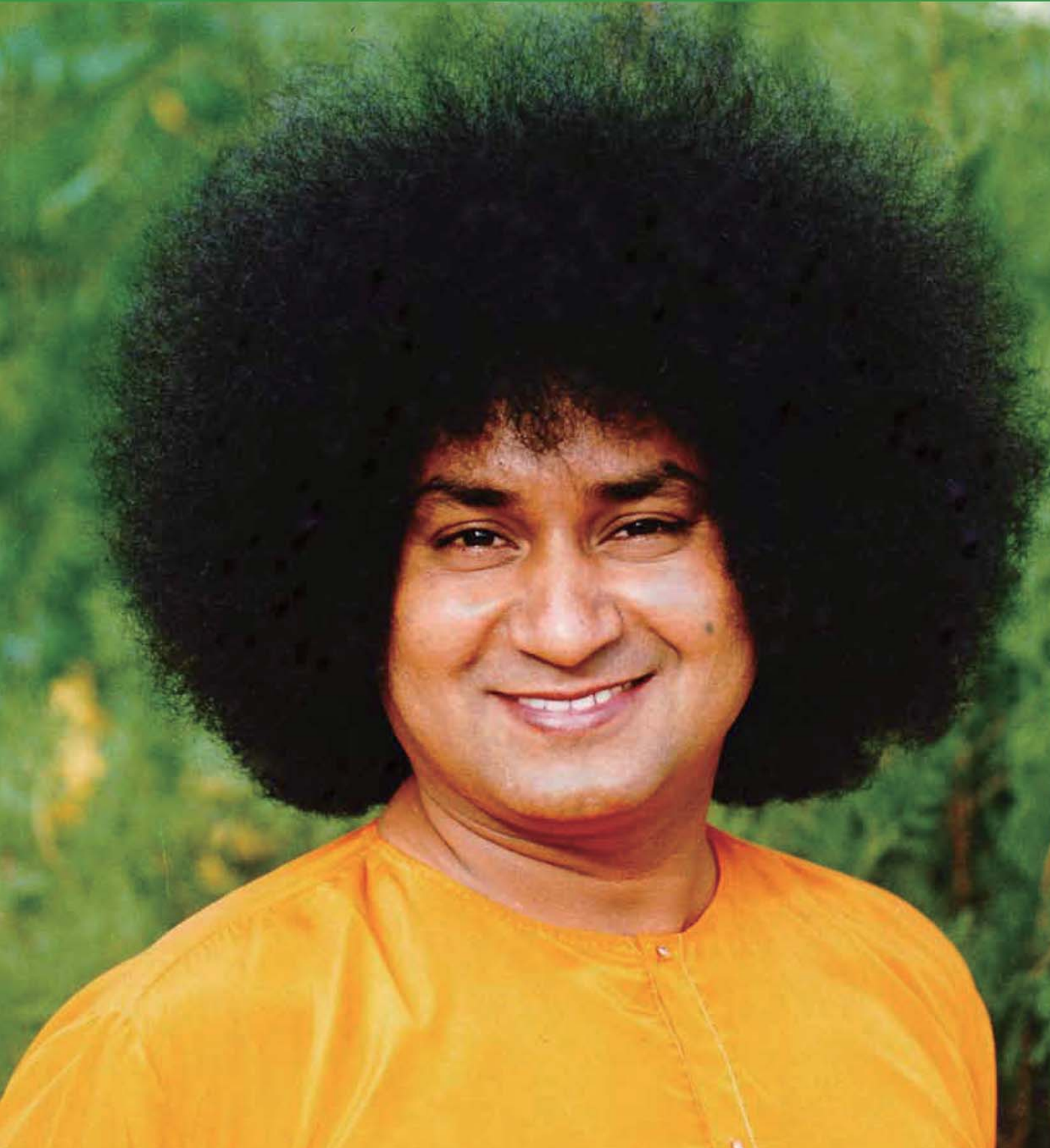


2013年第4号



BALASAI NEWS

インドの神の化身スリー・バーラサイ・ババの教えと慈善活動に関する情報







神の御名を。。。

神は、サルヴァ・アナタラヤミンである。

これは、神は自らの創造物全ての中の住人であることを意味している。

神がお前たち全員と共にいることを知ることで、お前たちは善行だけを行い、悪しきことを避けるよう勇気づけられるのである。

神は、いつでも、どこでも、全てを見ているのだ。

神は、永遠で唯一の証人である。

神には、誰をも罰する必要はない。

そうではなく、誰もがカルマの法則に基づいて果報（原因とその結果）を受けるのである。

自分で蒔いた種は、自分で刈るのである。

椰子を植えた者がパイヤを収穫することはないということである。

B. ツァングル著 『神聖なるダイヤモンド』

ISBN-13: 978-3-936365-12-2, 19,90 ユーロ

新発売

<http://www.sribalasaibaba.at/shop>

肉体を持った神と肉体を持たない光だけの神との間に、何の相違もない。
形のある神を崇拝しようが、形のない神を崇拝しようが、結果は同じである。

地球で人間の姿をした神

(以前にバーラサイ・ニュースでご紹介した連載ストーリーの続編です)



バーラサイ・ニュース 2013 年第 3 号、
6 ページの続き

神が求めているのは人間の心であって、
肉体ではありません。心が開かれてい
なかったとしたら、肉体の美しさや物
質的な富が何の役に立つと言えるで
しょうか

「私は、船を待っている乗客を安全に片
方の岸辺から対岸へと運ぶ船頭よう
な存在である。川を渡りたいと思う者
は、私のボートに乗る必要がある。そ
れでやっと、私も彼らに対岸へ渡すこ
とができるのである。」「ところで、お
前を引き止めたその女性はどうなった
のか？」とババは、続きを知りたがり
ました。「彼女の娘は毎日私に電話して
きて、私を家に招待したいと言ってく

る。つい最近、彼女の母親がやっ
てきて、私に家にくるよう説得
しようとしたが、彼女が何度も
口にしていて私の名前以外は全
く何も理解することができな
かった。」。ババは、微笑みなが
らこう言いました。

「この二人の女性のせいでお前が
私に対する信頼を失くしてし
まったのだと私はそう思ったよ。
もしそうだったら、本当に残念
だ。もしお前がいなくなったら、
とても悲しく、悲劇的だ。』。

「とんでもない。ババ、そういう
問題ではありません。インドで
は、私は批判されたことはほと
んどありません。私の故郷の方
が、その可能性はずっと高いで
す。神の権化を信じるというこ

とは、多くの人にとってはとても困難
なことです。』。するとババは「私の帰
依者たちは、本当に素晴らしい特長、
またはキャラクターを持っている。そ
の何人かは、本当に純朴な人たちの
だろう。お前も見ているように、
大勢の母親が子供を連れてやって来
たりする。そういった全ての人たち
に対して、私は決して他人を批判して
はならないと教えてきた。そういった
人達が私の教えを守っていることを
私はとても誇りに思う。批判は罪
である。聖人やその他の生き物を決
して批判（悪い意味で）してはな
らない。インドでは、人々は聖人
に敬意を表する。インド人は、そ
ういった聖人が地上に降りた神
の化身であり、（インドの人々が）
神を見つけるために必要な知識
を聖人たちは持っていると信じて
いるからである。しかし、神の創
造物は聖人だけではなく

い。生き物全てが神の創造物なの
である。神は全ての生き物の中に
棲んでいる。もしお前たちが批判
をしたら、そこから一歩も前に進
むことはできない。献身と愛によ
ってお前たちの貸方の部に 10
ポイントが加算されるが、羨望や
嫉妬や批判によってお前たちの
借方の部に 10 ポイントが加算さ
れることになる。10 から 10 を
引いたら 0 になる。計算上はそ
うなるのだ。他の生き物に対して
批判を行う権利は誰にもない。
にもかかわらず、そうすることは
本当に罪深いことである。人間
は言葉を口にしたたり、何らかの
行動を起こす前に、（自らの）知
性と相談すべきである。『今、私
が発言しよう、行おうとしている
ことが、良いことなのか、そうで
ないのか』と。そう自問自答して、
それから決定すべきである。』。

「ババ、今の世界状況はとても悪
い状態ですか？」。

ババ：「世界には良いものもある。
そうでなかったら、お前たちは喜
びや幸福を感じることができな
くなってしまふ。この世に善いも
のと喜びが存在するのは、常に
神と共にある聖人のリシとヨギ
のおかげなので、お前たちは彼
らに感謝すべきである。彼らが
自らを犠牲にしていなかったと
したら、地球上の世界はとんでも
ない状態になっていたことであ
らう。』。

「今日の日刊新聞に 1957 年にア
メリカで本当に起こった事件の
記事が載っていた。映画化され
たその事件は、アメリカ政府が
上映中止にするほど残虐なもの
だったようだ。実際、映画を見
て心臓発作を起こし亡くなった
人もいた。』。ババは、実際に
起きたその事件の話私にしてく
れました。